

文学館 カレッジ

---- College Program of Hokkaido Museum of Literature ----



2023年度開講講座総合案内と受講申込書

2023年度の文学館カレッジがスタートします。言葉を大切にしながら、文学をより身近なものにし、人生にいっそうの彩りと深みを加えたいと願う皆さまとともに学び合うための文学館の試みです。

文学館ならではの充実したメニュー。言葉への深い愛情と理解から生み出された多彩な作品の講読や分析を通して、言葉の持つ豊かな力、言葉による表現の可能性を求めて開催します。

各講座の開講日程、講師、受講料など、詳細については2頁以下をご覧ください。皆さまの積極的なご参加をお待ちいたします。

- ◆ 受講の申込み：2023年5月26日(金)より
(講座ごとに定員となりしだい、受付を終了いたします。)
- ◆ お申込み方法：「受講申込票」をカレッジ事務局まで、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法でお送りください。電話でのご予約も可能です。
(am 9:00～pm 5:00)
※「受講申込票」は、この案内書に添付されています。
- ◆ お問合せ先：公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者)
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
(地下鉄南北線中島公園駅または幌平橋駅下車徒歩6分)
TEL . 011-511-7655 FAX. 011-511-3266

Eメール bungaku@h-bungaku.or.jp

【全講座のご紹介】

文学アラカルト 宮沢賢治を深く読むⅡ

定員 各回20名

昨年度、開催した「宮沢賢治」についての講座を視点を変えて今年度も開催します。

① 詩集『春と修羅』を読む 6月24日（土） 講師:若宮明彦

宮沢賢治の詩は童話に比べると、難しいと言われています。しかし、詩をじっくり読むと、新たな発見があるものです。賢治が心象スケッチとよんだ詩集『春と修羅』を再読します。宮沢賢治の詩集（文庫本等）をお持ちの方はご持参ください。

② 賢治詩における鉱物幻想 7月22日（土） 講師:若宮明彦

少年時代、鉱物採集に熱中した賢治は、「石コ賢さん」とよばれていました。野外実習の折には、常にハンマーを忍ばせていて、傍らの石ころに槌音を響かせたそうです。賢治の愛した鉱物世界を、スライドや鉱物標本とともに紹介します。

③ 賢治の短歌を読み解くⅠ 8月26日（土） 講師:田中 綾

賢治は詩ばかりではなく、短歌も数多く残しています。その短歌作品を2回に渡り解説していきます。

④ 賢治の短歌を読み解くⅡ 9月30日（土） 講師:田中 綾

日 時	①6月24日（土）②7月22日（土）③8月26日（土） ④9月30日（土） 各日 10:30－12:00
講 師	①②若宮明彦（詩人、北海道教育大学札幌校教授） ③④田中綾（歌人、北海学園大学教授）
受講料	1回 1,300 円（文学館会員 1,170 円）※各回ごとの受講、お支払いとなります。

文学アラカルト 俳句・川柳の世界

定員 各回20名

① 川柳－田中五呂八をめぐる人々	10月28日（土）	講師:岡崎 守
② 黒田杏子の人と俳句	11月25日（土）	講師:五十嵐秀彦
③ 俳句の鑑賞法～俳句を「読む」ということ～	12月23日（土）	講師:五十嵐秀彦
日 時	①10月28日（土）②11月25日（土）③12月23日（土） 各日 10:30－12:00	
講 師	①岡崎守（北海道川柳連盟顧問）②③五十嵐秀彦（俳句作家）	
受講料	1回 1,300 円（文学館会員 1,170 円）※各回ごとの受講、お支払いとなります。	

絵本を学ぶ－SDGsから絵本を見る

定員 20名

① 絵本が伝える平和－地球に生きる	7月15日（土）	講師:杉浦篤子
② 語りあい、育ちあうという営み	8月19日（土）	講師:藤田進
③ 絵本を通して、つながる子どもたち	9月16日（土）	講師:増山由香里
④ 絵本を通して広がる世界	10月21日（土）	講師:横田由紀子
⑤ 絵本を通して考える－未来に残したい価値観	11月18日（土）	講師:久保田知恵子
⑥ 絵本を通して－子どもたちと共に	12月16日（土）	講師:杉浦篤子
日 時	①7月15日（土）②8月19日（土）③9月16日（土）④10月21日（土）⑤11月18日（土）⑥12月16日（土） 各日 13:30－15:00	
講 師	①⑥杉浦篤子（藤女子大学名誉教授）②藤田進（札幌第一こどものとも社）③増山由香里（札幌国際大学准教授）④横田由紀子（元札幌大谷大学短期大学部保育科教授）⑤久保田知恵子（光塩女子短期大学非常勤講師）	
受講料	全6回分 7,200 円（文学館会員 6,480 円）	

生涯読書会 「大江健三郎を読む」から古典へ

定員 20名

小林秀雄の『本居宣長』をようやく読了したのですが、今年度は大江健三郎の『晩年様式集』（講談社文庫）から遡って読んでいきます。後半は古典（日・露）も予定しています。	
日 時	①6月17日（土）②7月15日（土）③8月19日（土）④9月16日（土） ⑤10月21日（土）⑥11月18日（土）⑦12月16日（土） ⑧令和6年1月20日（土）⑨2月17日（土）⑩3月16日（土） 各日 10:30－12:00
講 師	工藤正廣（北海道立文学館館長）
受講料	全10回分12,000円（文学館会員10,800円）前期・後期に分けてのお支払いも可。初回テキストは大江健三郎『晩年様式集』（講談社文庫）をご用意ください。

続・永井荷風の日記を読む

定員 20名

荷風日記を読む意義はどのようなものでしょうか。それは、日々生起する出来事を、自分なりの見方で捉えることの参考にすることです。荷風散人のような透徹した観察眼・批評眼を獲得したいものです。今回は戦中から戦後にかけての荷風日記を読みます。実験小説『濯東綺譚』についても考えてみましょう。 テキストは『摘録断腸亭日乗』上・下2冊（岩波文庫）と『濯東綺譚』（岩波文庫、新潮文庫など）です。あらかじめ入手してください。	
日 時	①6月24日（土）②7月22日（土）③8月26日（土） ④9月30日（土）⑤10月28日（土）⑥11月25日（土） 各日 13:30－15:00
講 師	中澤千磨夫（当財団副理事長）
受講料	全6回分7,200円（文学館会員6,480円）

【注 意 事 項】

<共通事項>

- ◇ 「文学アラカルト」を除き、全回通しの受講となります。
- ◇ 各科目とも1回の講義時間は基本90分です。
- ◇ 会場は北海道立文学館地下講堂です。
- ◇ テキストについては、講座紹介に記載がない講座は、原則として講師のほうで用意します。
- ◇ 受講者は筆記用具をご持参ください。

<受講申込要項>

- ◇ 受講申込方法
添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局までお申し込みください。
申し込みは、郵送、電話またはFAXでも受け付けます。
- ◇ 「文学アラカルト」は各回ごとのお申込みですが、申込みをされる時に受講希望の回すべてに○をおつけください。
- ◇ 定員に達ししだい受付を終了します。また受講申し込みが8人に達しない場合は、閉講する場合がありますのでご了承ください。
なお、定員に達したため受講をお断りする場合、及び受講者が8人未満で開講できない場合のみ、事務局から連絡いたします。それ以外は、お申し込みいただいた時点で受講可能ですので、開講日においでください。
- ◇ 開講した時点で定員に達していない場合は、第2回の講義終了時点まで受講の申し込みを受け付けます。それ以降の途中申し込みはお受けしませんので、ご了承ください。
- ◇ 文学館会員の方は、受講料に会員割引の特典があります。
- ◇ 受講料は、開講初日にお納めください。全10回の講座のみ前期・後期にわけてのお支払いが可能です。
- ◇ 納入済みの受講料については、原則としてご返却いたしかねます。
- ◇ 修了証等は、発行いたしませんのでご了承ください。

☆ 当館は高齢者の方のご利用が多いため、マスクの着用を推奨しています。

☆ 注意事項をご一読のうえ、お申し込みください。

☆ (公財)北海道文学館では賛助会員(年会費3,000円)を募っています。詳細はお問い合わせください。